

塾長の独り言 NO 102 H 20. 7. 31

漁業者だけに、原油上昇分の補填・・・あなたはどう思う？」

久しぶりの塾長の独り言になります！（さぼっていてごめんなさい！）

原油高騰によって、国内漁業者が採算赤字、減船ストなど・・・テレビなどのメディアで放送
その結果、政府は漁業者（エネルギー削減などの条件などあるも）に原油高騰分を税金で補填する
とニュースがありました。

それに対して、国民の反応は約 50% が反対、30% が賛成
さて、あなたは、どう思いますか？・・・反対ですか？賛成ですか？

私は、政治家の無策、レベルの低さに呆れかえります。

いつものバラマキ行政。

団体で強硬にストなどやられると、すぐに弱腰になり、金銭的に補填して終わり。
政治家は票が欲しいから、目先の対処ばかりして、長期的な視点が全くない！
漁業者たちも物乞い精神が抜け切れていない！

未だに、江戸時代から「お代官様、どうにかしてくんろ！」の卑しい物乞い精神
こんなことで、抜本対策になっていない。

危機（脅威）が来たら、困ったら、どうにかしてくれと責任転嫁、他人依存の体質。
又、一部漁業者だけという不公平・不平等。

原油高騰に苦しんでいるのは他にもいっぱいいるはず。

目先（短期的視点）の応急処置、補填や補償してもらっても、長期視点で考えると本当にこの農業と
同じような補助金制度で競争力のない事業構造でいいのか？

将来、事業として継続できるような未来の希望や展望が見えない事業のままでいいのか？

漁業者の事業も漁協や市場経由の流通に任せきるのではなく、自分が主体的に主役となり、サプライ
チェーンを構築するいいチャンスになると考え、模索する必要があるのでは？

企業での事例で考えると、今現在、環境の激変が起きているのです。

SWOT 分析でいう脅威が経費の増大、仕入れコストの急激なアップ。

この脅威（危機）・・・ピンチをチャンス（機会）に変えられるかどうかポイントです。

危機にいかに対処するのか？

それとも対応するのか？

今、あなたの企業も試されているのですね。

<コメント>

経営の原則を・・・考えてみましょう！

「ありたい姿は？」 「あるべき姿は？」 そして「自分に出来ることは何か？」

・・・何故そうしたいのか？・・・具体的にはどうするのか？

SWOT 分析や PPM 分析などで考えれば・・・未来の進むべき方向性が明確になります。

ピンチをチャンスに変えるには、以下の3つの視点が大切です

長期視点に立って見る

大局的視点に立って見る

そして本質的な価値を考えてみる